

AC-201L

かんたんガイド

Ver.A

株式会社エイポック  
www.a-poc.co.jp  
TEL 045-508-5201

■付属品がすべてそろっていることを確認してください。

- AC-201L (本製品)
- USB ケーブル
- ストラップ
- かんたんガイド(本書)

■本製品の特徴

- ・バーコードの読み取りと蓄積ができます(JAN13 で約 60,000 件)。
- ・蓄積データを USB 経由でパソコンに転送することができます。

◆別途ご用意下さい

- ・本製品を充電するため、USB ポートがあるパソコンが必要です。

■取扱説明書はホームページからダウンロードして下さい。

www.a-poc.co.jp

※一部資料は「ユーザー専用ページ」で配布

ユーザー名 パスワード はお買い上げの商品に記載

取り扱い上の注意

ご使用前に、取扱説明書の取り扱い上の注意を必ずお読み下さい。本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

電池の注意

本製品は、リチウムポリマー電池(バッテリー)を内蔵しています。  
◆電池の液が漏れたときは、液に触れないで下さい。◆濡らしたり、水などの液体の中に入れてたりしないで下さい。◆電池は定期的に充電して下さい(月 1 回程度)。長期間放置すると劣化します。◆満充電になったらケーブルを外して充電を中止して下さい。◆電池は寿命があります。十分に充電できなくなったら、弊社に有償修理をご依頼下さい。

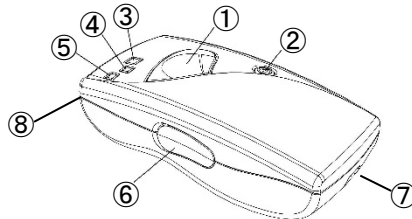
レーザーの注意

本製品は、Class2 レーザー製品に準拠した製品です。製品の目的どおりに使用した場合は危険がないとみなされています。  
■ご使用になるときは、次の点に注意して下さい。  
◆正面の窓をのぞき込まないで下さい。  
正面の窓からレーザー光が出ます。目に障害を与える危険性があります。  
◆人の目にレーザー光を向けないで下さい。  
目がくらむなど障害を与える危険性があります。

◆製品の仕様、本書の内容については改良のため予告なく変更する場合があります。

- ◆本製品はすべての機器との接続を保証するものではありません。
- ◆本書に記載された他社製品名は各社の商標または商標登録です。
- ◆本書の一部または全部を無断で複製および転載することを禁じます。

1 各部の名称と意味



①大ボタン	押す→バーコード読み取り 転送モードに入ってから押す→蓄積転送
②小ボタン	USB 接続時、長押し後、離す →転送モードに入る メモリモードで長押し+大ボタン →蓄積消去
③読取通知 LED	緑→読取成功
④モード通知 LED	緑→USB モード オレンジ→メモリモード
⑤パワー通知 LED(赤)	USB 接続時 : 点灯→充電中 2秒間隔の点滅→充電完了 単独使用時 : 点滅→バッテリー少ない
⑥USB ポート(Type C)	USB ケーブルを接続
⑦ストラップ穴	ストラップ取り付け穴
⑧読取窓	レーザーを照射

2 充電して下さい

本製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続し、充電して下さい。赤 LED が点滅したら充電完了です。

充電完了後は USB ケーブルを外して充電を中止して下さい。

※USB 接続したまま充電を中止することもできます。

USB 接続したまま小ボタン長押し→ブザー3 回(ピピピ)→小ボタンを押したまま、大ボタンを押す (同じ操作で充電を再び開始)

◆充電完了後も給電し続けるとバッテリーを痛める恐れがあります。

◆パソコンまたは USB AC 充電器(5VDC ,500mA 以上)で充電して下さい。タブレットやその他の方法で充電した場合、適切に充電できず本製品のバッテリーを痛める恐れがあります。

3 バーコードの読み取り方

大ボタン(1-①)を押し、読取窓(1-⑧)から出るレーザーをバーコードに水平に向け、バーコードの左右からはみ出るようにかざすと読み取ります。



4 モードについて

本製品は 2 つのモードがあります。モードは通知 LED の色で確認できます。各部の名称の表を参照して下さい。

5 ケーブルモード - パソコン接続にて直接読み取り

- 1) 本製品とパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。
- 2) バーコードデータを入力する場所にカーソルを合わせて下さい。
- 3) バーコードを読み取って下さい。データを転送します。

6 メモリモード - 読取データ蓄積後転送

- 1) 本製品から USB ケーブルを外して下さい。メモリモードになります。通知 LED がオレンジ色で点滅します。
- 2) バーコードを読み取って下さい。データを蓄積します。
- 3) 本製品とパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。
- 4) データを転送する場所にカーソルを合わせて下さい。
- 5) 小ボタン押し→ブザー3 回(ピピピ)→まだ長押し→ブザー1 回(ピー)→ボタンを離す。(オレンジ LED が点滅し、転送モードに入ります)
- 6) 大ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。

◆パソコンの言語バーは半角英数又は直接入力を設定して下さい。

(画面右下の「あ」などを右クリック、半角英数を選択)

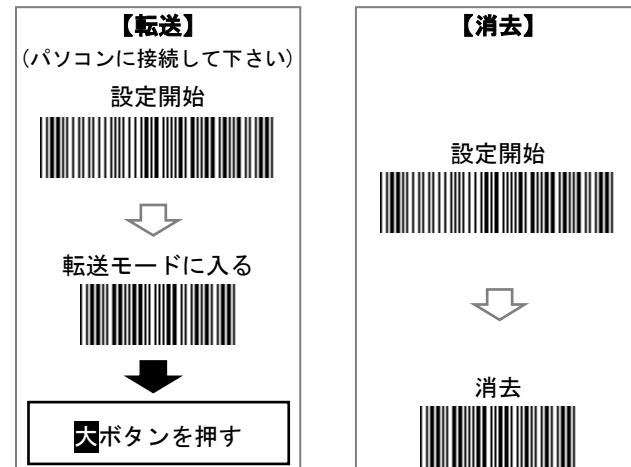
◆蓄積データ転送は下記[転送]の設定メニュー読取でも可能です。

◆転送した後も、本製品に蓄積データが残っています。

\*蓄積データの消去方法

- 1) 本製品から USB ケーブルを外して下さい。
- 2) 小ボタン長押し→ブザー3 回(ピピピ)→小ボタンを押したまま、大ボタンを押す。

\*設定メニューで転送・消去 - メニューでも操作できます



## 7 仕様

読み取り バーコード	JAN/EAN/UPC ,Code 39, Interleaved2of5 (ITF), Codabar(NW7),Code 128, GS1 Databar (RSS)他
スキャン エンジン	赤色半導体レーザー650nm、 スキャン速度 120 スキャン/秒、最小分解能 0.1mm 読取深度:7~23cm(0.39mm JAN)、PCS 0.45
プロセッサ	32bits CPU
メモリ	8MB(蓄積件数:JAN13 で約 60,000 件)
バッテリー	リチウムポリマー3.7V 420mAh USB ポートで充電
読取回数	21,000 回(パイブレータ・オン、5 秒に 1 回の読取で)
USB	USB (HID キーボード、マストレージ)
ボタン	2(大:読み取り/転送,小:転送モード,他)
通知	LED(3 色)、ブザー(4 段階又は無し)、パイブレータ
温度	動作 : -10 °C~40 °C、保管 : -20 °C~60 °C
寸法	(L x W x H) 68.7 x 37.1 x 21 mm
重量	39.3g(内蔵バッテリー含む)
法令等	FCC / CE / VCCI / RoHS

## 8 保証と修理 お問い合わせ先 [www.a-poc.jp](http://www.a-poc.jp)

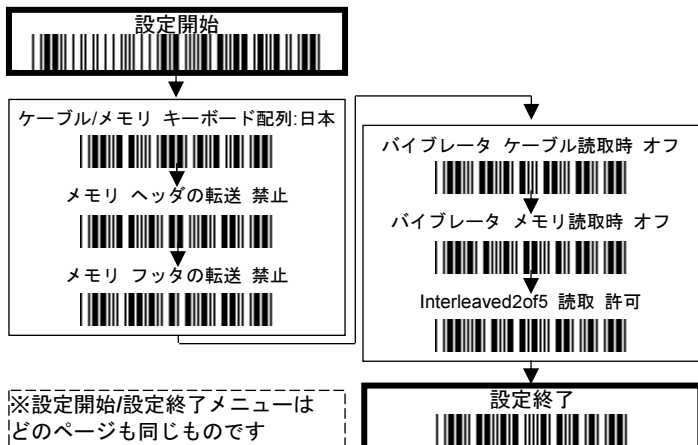
- ◆本製品は保証書が付いておりません。本体のSN(シリアルナンバー)で保証管理しており、お買い上げの製品は保証規定の対象となります。
- ◆保証期間はお買い上げから1年間です。保証期間内であっても、誤った取り扱い、自然災害による故障、消耗部の交換は有償となります。
- ◆修理をご依頼になる場合はホームページ掲載の修理依頼書を印刷し必要事項をご記入の上、製品に添付し、送料はお客様ご負担の上、弊社にお送りください。

## 9 バーコードメニュー

設定開始→各メニュー→(英数メニュー→セット)→設定終了を読み取り設定変更します。詳細は取扱説明書をお読み下さい。

### 9-1 おすすめの設定 初めて使うときに設定して下さい

下記の設定開始から設定終了まで読み取って下さい。



### 9-2 動作設定 お好みで設定して下さい \*印は出荷時設定です

設定開始

◆ブザーの音量 (いずれかの枠内をすべて読み取って下さい)

音量 小にする USB 抜き差し 小 ケーブル 読取 小 ケーブル 警告 小 ケーブル 機能操作 小 メモリ 読取 小 メモリ 警告 小 メモリ 機能操作 小	*音量 最大にする USB 抜き差し 最大 ケーブル 読取 最大 ケーブル 警告 最大 ケーブル 機能操作 最大 メモリ 読取 最大 メモリ 警告 最大 メモリ 機能操作 最大
--	---

※設定メニューを読むときの音量は変わりません。

### ◆パイブレータ・オンにする (9-1でオフにしています)

*ケーブルモード 読取時 オン	*メモリモード 読取時 オン
-----------------	----------------

※バッテリーを長持ちさせるにはパイブレータをオフのままにして下さい。

### ◆2度読み防止 (メモリモード用設定。オンは同じデータを読みません)

*オフ	オン (2度読みしない)
-----	--------------

### ◆初期化

初期化

※設定開始→初期化を読むと出荷時の設定に戻ります。時計の設定と蓄積データは消えずに残っています。

### ■バーコードサンプル 動作確認などにご使用下さい

コードタイプ Code 39

\*12AB\*

設定終了

### 9-3 日時の設定

設定開始

◆本体の日時を設定する

日時の設定

次に英数メニュー→セット→設定終了  
※例: 2022/09/15 09:30:00 なら英数メニューを220915093000と読む

◆日時とデータを転送する設定 (上からすべて読み取って下さい)

形式:日付(タブ)時刻(タブ)データ(改行)

メモリ 日付の転送 許可  
メモリ 時刻の転送 許可  
メモリ デリミタの転送 許可  
メモリ 日付と時刻の間のキャラクタ

0  
9  
セット  
メモリ デリミタのキャラクタ  
0  
9  
セット  
→次に設定終了

### ◆日時の位置を設定する

\*前(日時 データ)  
後(データ 日時)

### ◆日時を転送しない(元に戻す)

\*メモリ 日付の転送 禁止  
\*メモリ 時刻の転送 禁止

## 英数メニュー

0  
1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
A  
B  
C  
D  
E  
F  
セット  
設定終了